

臨床家の感性を磨く

感性教育臨床研究所
小林隆児

1

感性の重要性に着目するようになったのはなぜか

2

人をむすぶ、街をつなぐ
九州電力

3

九州 ……笑っている「九」君と「州」君

九州 ……泣いている「九」君と「州」君

州 ……怒っている「州」君

図4 様々な表情を持つ「九」君と「州」君

4



「九」君と「州」君

5

Journal of Autism and Developmental Disorders, Vol. 26, No. 6, 1996

Brief Report: Physiognomic Perception in Autism¹

Ryuji Kobayashi²
Tokai University School of Health Sciences

Physiognomic Perception 相貌的知覚

6

相貌的知覚の1例



図6：ある薬局に置かれた女性

小林隆児著『発達障害の精神療法』（創元社、2016、p. 31）

7

相貌的知覚の1例

まな板に印されていた魚の図柄



魚のゴック
つめたいお水に目を
泳いで ちびちびと泳がせたい。

これでもいい顔いい目に見えて まだちょっと見られない

図5：まな板に印された魚の図柄（左）と患者の描写

小林隆児著『発達障害の精神療法』（創元社、2016、p. 31）

8

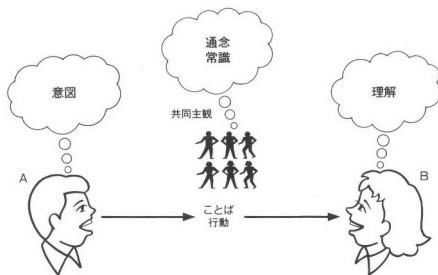


図3 二者間のコミュニケーションの構造
(小林隆児著『自閉症の関係障害臨床』p. 13)

9

コミュニケーションの二重性

10

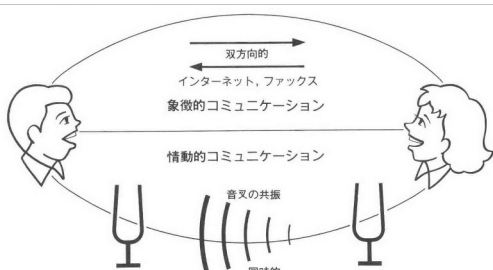


図2 コミュニケーションの二重構造
(小林隆児著『自閉症の関係障害臨床』p. 13)

11

相貌的知覚

情動的コミュニケーション世界の知覚体験

12

コラム表2 コミュニケーションの二重性と脳機能

コミュニケーション	大脳の局在	反応速度	知覚の精度
情動的(原初的)/ヴォーカル	扁桃体(古皮質)	速	粗
言語的/非言語的	大脳皮質(新皮質)	遅	緻

(小林, 2016, 表3, p. 23)

小林隆児著『発達障害の精神療法』創元社、2016、p. 23より

13

情動的コミュニケーション

感性的コミュニケーション

無意識的コミュニケーション

コミュニケーションの基盤

14

自閉症の早期発見、早期治療

乳幼児期の母子関係への探求

15



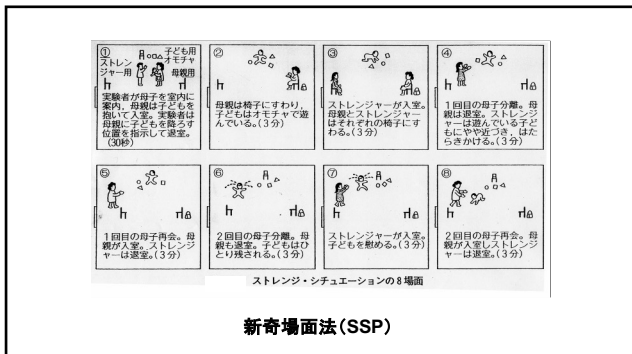
16



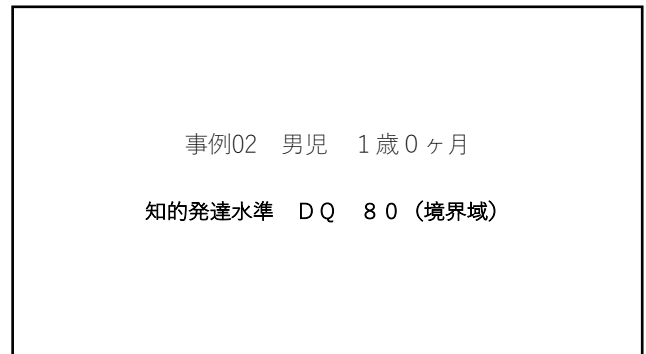
17



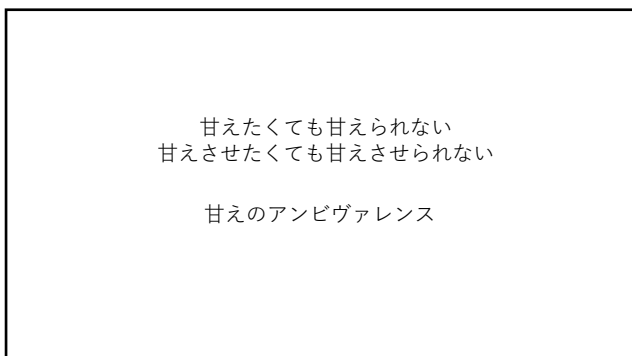
18



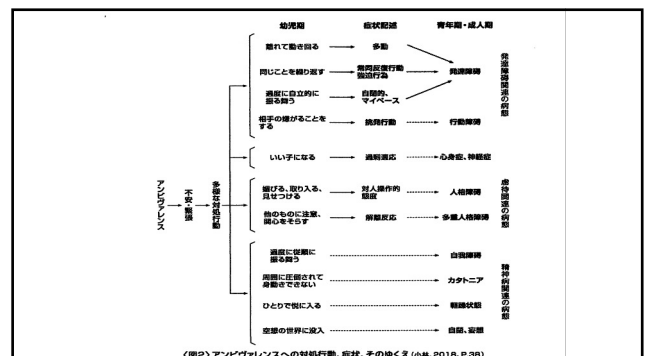
19



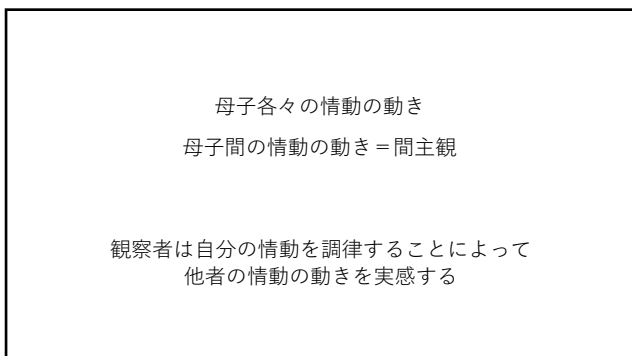
20



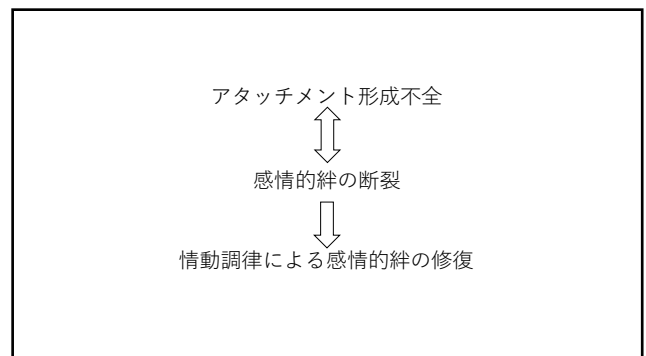
21



22



23



24

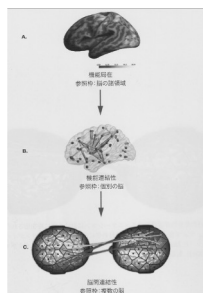
発達科学におけるパラダイム・シフト

60年代～70年代 行動パラダイム
80年代～90年代 認知パラダイム
現在 (身体を基盤に持つ) 情動パラダイム

25

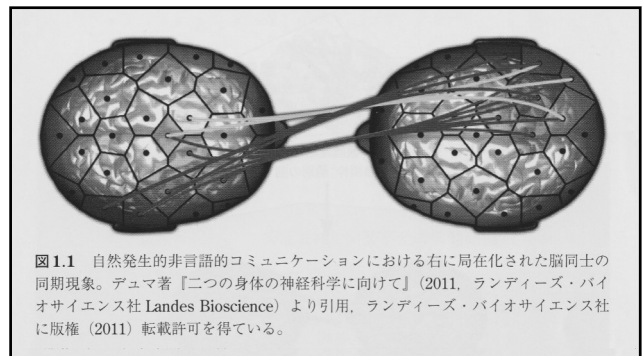
神経生物学におけるパラダイム・シフト

26



アラン・ショア著『右脳精神療法』口絵より

27



28

脳間の情動同期現象

情動という可視化困難な事象をいかに扱うか

29

「個」をみる＝行動観察＝ある断面を切り取る
リアリティとしての現実

「関係」をみる＝関与観察＝対象とともに動く中で捉える
アクチュアリティとしての現実

30

自分の情動の動きを通して
他者の情動の動きを感じ取る

31

感性教育

32

感性 sensitivity

他者の態度、感情、または状況に敏感であること、すなわち
情動のごくわずかな違いや変化を心に銘記すること

(American Heritage Dictionary)

33

感性教育とはどんなことをするのか

- ・ SSPからみた母子関係の様相の映像を供覧
- ・ 母子関係に何が起きているかを感じ取る
- ・ 感じたまま率直に語ってもらう
- ・ 批判的なことは言わない
- ・ 深くわかり合うための質問は歓迎
- ・ 進行役は発言者の意図を明確にしていく役割

34

感性教育を試みる中でわかってきたこと

35

二者間で脳が同期する関係の質

- ・ 母子関係
- ・ 深い精神療法（患者-治療者関係）
- ・ 親密で近い関係

36

二者間で共鳴する情動の質

- ・生物学的原始的情動
- ・興奮、高揚、激怒、恐怖、嫌悪、恥、絶望

37

感じたことをどのように受け止めるか

人によって多様であること・・・主観的

しかし、深い無意識の情動は同期する
= 共有可能 = 共感

38

深い無意識の陰性情動

同期し、体感すると苦痛であるため、無意識に
情動を回避するように対処しがちになる
= 防衛機制（解離、合理化、知性化など）

39

臨床家に求められること

- ・深い無意識の陰性情動に耐える力をつける
- ・陰性情動を患者と共有する
- ・情動の意味を映し返す（ミラーリング）

40

アラン・ショア
入門

感情調整と
右脳精神療法

小林隆晃**

岩崎学芸出版社

(2024)

41